

## 浜岡原子力発電所 地下構造調査(更なる追加調査)の期間延長について

2011年3月31日

### ◆今回お知らせする内容

当社は、浜岡原子力発電所における地下構造調査(更なる追加調査)のうち海域弾性波探査<sup>※1</sup>について、海象条件により調査の一部が終了できていないことから、2010年度末までとしていた調査期間を延長することとしましたので、お知らせします。

延長する期間は、1ヶ月程度を予定しています。

### ◆これまでにお知らせした内容

当社は、5号機の地下に確認した低速度層の分布形状などを詳細に把握するとともに、あわせて、その他号機周辺についても詳細な速度構造を確認することを目的として、地下構造調査の更なる追加調査を行うこととしました。

([2010年8月6日](#)お知らせ済み)

当社は、地下構造調査(更なる追加調査)について、調査準備が整ったことから、ボーリング調査を開始しました。

([2010年8月27日](#)お知らせ済み)

※1 海域弾性波探査では、海上で発振器(エアガン)により音波を発生させ、海底の地中から陸地に伝播した弾性波を陸上(ボーリング孔内)で受振します。また、海底の地中で反射・屈折した弾性波を海底に設置した受振器(ベイケーブル)で受振します。これらにより、海岸付近の地盤の速度構造を確認します。

以上